

製品名: ヒストン H2B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12063**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	14kDa

抗原情報

遺伝子名	H2BFS
別名	H2BFS; Histone H2B type F-S; Histone H2B.s; H2B/s
遺伝子 ID	54145.0
SwissProt ID	P57053
免疫原	抗血清はヒトヒストン H2B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

背景

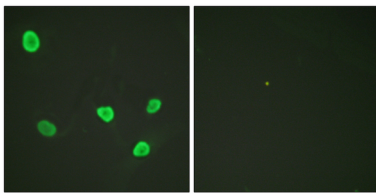
H2BFS は擬遺伝子です。ヒストン H2B タイプ 1-H はヌクレオソームのコア成分です。ヌクレオソームは DNA をクロマチンに組み込みコンパクトにすることで、DNA を鋳型として必要とする細胞機構への DNA のアクセスを制限します。そのため、ヒストンは転写

調節、DNA 修復、DNA 複製、染色体の安定性において中心的な役割を果たします。DNA のアクセス性は、ヒストンの複雑な翻訳後修飾（ヒストンコードとも呼ばれる）とヌクレオソームリモデリングによって調節されます。幅広い抗菌活性を有します。結腸上皮の機能的抗菌バリアの形成、および羊水の殺菌活性に寄与している可能性があります。H2BFS に関連する疾患には子宮内膜間質肉腫があります。関連パスウェイには、テロメア末端のパッケージングがあります。この遺伝子に関連する遺伝子オントロジー（GO）アノテーションには、配列特異的 DNA 結合およびタンパク質ヘテロ二量体形成活性が含まれます。この遺伝子の重要なパラログは HIST1H2BH です。DNA パッケージング、クロマチン構成、クロマチンの組み立てまたは分解、ヌクレオソームの組み立て、防御反応、細菌への反応、クロマチンの組み立て、細胞高分子複合体サブユニットの組み立て、細胞高分子複合体の組み立て、ヌクレオソームの組み立て、細菌への防御反応、高分子複合体サブユニットの組み立て、染色体の組み立て、高分子複合体の組み立て、タンパク質-DNA 複合体の組み立て

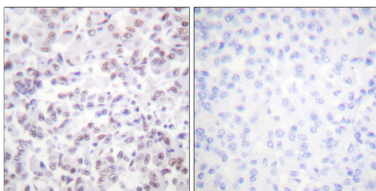
研究分野

タンパク質アセチル化

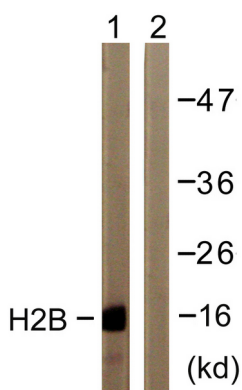
画像データ



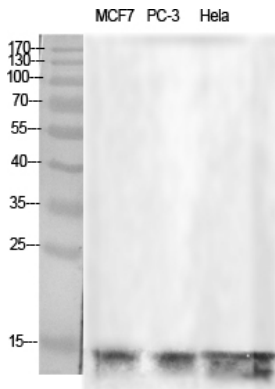
ヒストン H2B 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



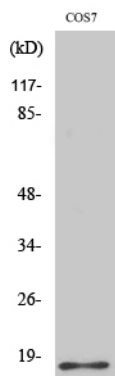
ヒストン H2B 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



COS7 細胞ライセートを TSA 400nM で 24 時間処理し、ヒストン H2B 抗体を用いてウェスタンブロット解析を行った。右レーンに合成ペプチドでブロッキングした。



1: 1000 に希釈したヒストン H2B ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。



1: 1000 に希釈したヒストン H2B ポリクローナル抗体を使用した COS7 細胞のウエスタンブロット解析。